

この度は、公共建築賞「地域特別賞」受賞、心からお祝い申し上げます。  
海星高校管理棟の建設当時は、「島内の中学生・保護者が行きたい、行かせたい学校になる」  
「県外、島外の生徒にも魅力が伝えられる学校になる」と、多くの関係者の方々が、強い熱意でプロジェクトに取り組まれていた事を思い出します。

建設に携わった私達も年々、魅力化プロジェクトの発信を目にし、当時を知る者の一人として、大変楽しく拝見させて頂いております。

この建築は、この地の将来を担っていく子供たちの教育の場・器として、この島で育んできた文化や技術から生まれる建築となって欲しいというデザイナーの意向に共感し、多くの地元業者、地元大工と力を合わせる事が出来た事で、完成した建築であったと思っています。

玄関ブロックの木組みの繊細さは、大工達と共に悩み苦心の末、実現した力作です。

視聴覚、展示ブロックに見られる透かし梁は、120mm 角の小さな端材を再用する事で、大型建築物の構造材へと変化させる素晴らしい発想のものでしたが、設計時の試験体製作ではその構造体が大きく曲がり、実現に耐えられないものであったそうです。

建設時にこの問題を解決するために、多くの工夫が必要でした。

そうして苦心した建物なだけに、個人的に思い入れの強い建物でもあります。

海星高校魅力化プロジェクトの中で感じた多くの想い、その文脈の中で完成した建築空間を、生徒の皆さんが日常の中で経験し、感じ取り、海星高校生であることに誇りをもって貰えたら、この建物に携わった一人として、大変嬉しく思います。

今後も海星高校の生徒の皆さんが、大崎上島及び日本の将来を担い、発展させる原動力となりますことをご祈念しております。

この度は誠におめでとうございました。 感謝

(株)河本建設 河本兼和